

【アゼルバイジャン経済トピック 179 号】

在アゼルバイジャン日本大使館

2025 年 4 月 4 日

アルミニウム

アゼルバイジャンは原料のボーキサイトは産出しないものの、その豊富で安価な電力を活かして、アゼルアルミニウム社が南コーカサスで唯一、アルミニウム生産を行っています。

同社のアルミニウム精錬工場はアゼルバイジャン第二の都市であるギャンジャにあります。近隣のミンゲチェビル水力発電所で生産される豊富な電力を精錬に用いています。アゼルバイジャンではボーキサイトから得られるアルミナ(酸化アルミニウム)を外国から輸入してアルミニウムを精錬していますが、原料を輸入して精錬しても採算が合うほど電力が豊富で安価であるということがうかがえます。

なお、当地で生産されたアルミニウムの一部は、アゼルバイジャン企業を経由して二次的に日本にも輸出されており、アゼルバイジャンの日本への輸出金額が最大の品目はアルミニウム合金となっています。

アルミニウムの原料であるアルミナに目を転じると、アゼルバイジャンは様々な国から輸入しています。表1は直近3年間におけるアゼルバイジャンのアルミナ(※統計上は酸化アルミニウム、人造コランダムを除くとされているものを計算)の上位輸入元の推移です。2022 年及び 2023 年は豪州やインドネシア、ブラジルからの輸入が目立ちますが、2024年からは輸入がなくなっています。これらの代わりにスペイン、アイルランドなどからアルミナを輸入して補った形が見えます。一方でギリシアからは2022年から安定して輸入を続けています。この理由としては、ギリシアがアゼルバイジャンに地理的に近く、輸送ルートが安定していることが挙げられそうです。

このように、意外と知られていないアゼルバイジャンのアルミ生産ですが、日本にもその一部が輸出されているとなると、少しはアゼルバイジャンを身近に感じられるのではないのでしょうか。

(以上)

表1 酸化アルミニウムの主な輸入元の推移

(2022～2024年、国家統計委員会のデータを元に作成)

輸入量(千トン)	2022	2023	2024
総輸入量	89.17	108.92	99.74
ギリシア	26.50	12.61	66.03
アイルランド	-	-	17.73
スペイン	-	-	15.55
トルコ	0.12	0.13	0.25
インドネシア	-	28.81	-
ブラジル	-	28.19	-
ジャマイカ	-	24.89	-
豪州	31.28	14.27	-
インド	31.23	0.00	-